

## 切実な願い議会に届け前進



### 多重債務の相談窓口開設

生活苦などでの多重債務者が増える中、税や国保料滞納の大きな要因ともなっています。このことから、解決を支援することで、滞納の解消と生活再建が図られると相談窓口の設置を議会に求め、新年度設置となりました。



### 全小中学校へのAED設置

小中学校の児童・生徒などの不慮の事故で心肺停止に備え、全小中学校でのAED(自動体外式除細動器)の設置を求め、新年度全小中学校でのAEDの設置となりました。



### 妊産婦健診の拡大

厚生労働省は昨年公費負担について、厳しい財政状況でも最低5回は実施を原則とするとの通知を行っています。門真市ではこれまで1回の助成でしたが、3回までの拡充となりました。代表質問では厚労省が通知している最低5回までの拡充を求めました。

### センサー付き防犯灯設置拡充

人が通ると、2倍の明るさとなり、ひったくりなどの防止効果のあるセンサー付き防犯灯が100か所設置されることとなりました。高価なスーパー防犯灯より効果抜群と、決算特別委員会でも設置拡大を求めています。

### 放課後児童クラブの拡充

児童福祉法に基づく小学校の児童の放課後対策の「放課後児童クラブ」が新年度5校拡充され11校となります。来年度は4校の拡充ですべての小学校で放課後児童クラブが開設されます。

### 政務調査費の領収書添付

議員の政務調査に関する費用として一人当たり月額6万円が支給されていましたが、領収書添付の義務付けがなく、不透明となっていました。党議員団は繰り返し領収書の添付を求めてきました。議員提案でようやく領収書の添付が義務化されました。また、政務調査費は4万5千円となり、1万5千円が議員視察費を公務として厳格に扱われるようになりました。

## 市民合意なしの

## 行革強行は断固反対です!



### 長寿祝金等の削減

年金・医療・介護など高齢者いじめがどんどん推し進められている中で、ささやかな励ましの制度だった長寿祝金等制度も大幅後退。77歳の祝品は5000円相当から3000円相当に。88歳(2万円)、99歳(3万円)の祝金を廃止。「こんなところを削るのか!」と憤りの声が上がっています。

### 保育所民営化

わずか7園しかない公立保育園を09年度4園一度に民営化しようとしています。職員の配置や応募法人の保育所で大量に退職者が出ていることなど、保護者の不安が解消されることなく、運営法人の選定が行われています。保護者合意のない民営化の強硬は絶対に許されません。

### 粗大ゴミ有料化実施

計画段階で市民への説明会を全く開かず、不十分な意見聴取で昨年9月議会で決定された粗大ゴミの有料化が4月から実施となりました。不法投棄問題など問題は山積。市民の不安と負担増の押し付けです。

### 門真まつり中止で市民協働?

35回の歴史を持つ「ふるさと門真まつり」の中止、ごみのリサイクル活動などで全国的にも有名な「リサイクル活動機構かどま」への工房事業委託の大幅な削減が十分な説明がされないまま強行。市長は「市民協働」といいますが、市民との溝はますます広がるばかりです。

### 民間委託、臨時・派遣雇用の推進で不安定雇用促進

「少人数行政」を合言葉に職員を大幅に削減し、民間委託や臨時・派遣雇用を推進しています。このなかで、「偽装請負」も発覚。行政が不安定雇用を促進し、公的責任を後退させることは大きな問題です。

### 事業の廃止・休止・縮小

新年度は事業の廃止・休止、縮小が目白押しです。緊急援護資金の圧縮、児童のプール開放の縮小、ごみ減量や男女共同参画の各種啓発事業が廃止、文化振興事業団の解散など、福祉・教育・くらし・文化振興など、全ての分野での市民サービス後退です。